

頌春の候、皆様におかれましては、ますますご壮健のこととお喜び申し上げます。また、平素は学校活動に多大なご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。本年も皆様が御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、新しい年を迎えた今、生徒のみなさんはどのような気持ちでいるのでしょうか。いよいよ高校生活も実質残り1年となりました。この1年は、みなさんの人生において大きなターニングポイントとなる出来事がたくさんあります。部活動においても受験勉強においても、うまくいくこともあれば思うようにいかないこともあるでしょう。しかし、その時に思うようにいかなくても後から振り返ると、その苦しみが土台となって成長の糧となったと感じられることはよくあることです。自分にとってマイナスと感じられる出来事も、起きてしまった事実を変えることはできませんが、どう受け止めるのかは自分の意志で変えることができます。一見マイナスに思える出来事も、それをきっかけに改善することができれば、長い目で見てプラスに転じさせることができます。思うようにいかない状態こそ、自分自身を成長させることができるチャンスと捉え、これから迎える状況に真正面からチャレンジしてもらいたいと思います。

今回は、

- 三者面談を終えて(志望理由書の作成に向けて)
- 学習の自走化について
- 復習のコツ
- 修学旅行に向けて(再)
- 「受験生」としての好スタートを切ろう！ についてお伝えいたします。

## 三者面談を終えて

三者面談では、それぞれの志望校について宣言をしてもらいました。多くの生徒が、1年後に迫った受験に向けて気持ちを高めている様子が見え、うかがえませんでした。大切なのは、ここからどのように行動に移し、それをどれだけ継続できるかです。志望校に対しての合格が保証されている生徒は、現時点では一人もいません。自身が宣言した志望校の合格に近づくために、全員がこれから努力を続ける必要があります。意識の高まりを効率よく行動に移すために、面談報告のなかで気になった点とその改善策をあげておきます。

### 志望校受験についての分析をより深くすると学習時間の時間配分が見えてくる

- (ex.)・共通テストの傾斜配点
- ・共通テストと二次試験の配点比率
  - ・二次試験の必要科目や範囲

正式には2020年7月頃に発表される各大学の入試要項をチェックする必要がありますが、配点等については今年度のものを把握しておく必要があります。受験勉強では、配点比率に応じて勉強時間を配分する必要があります。

### 対策を具体的に考えると成績は伸ばしやすい

- ▲勉強時間を増やす
  - ▲数学をがんばる
  - ▲意識を高く持つ
- ☞
- ◎英語の仮定法、数学の数列为苦手なので対策をする
  - ◎英語はPowerStageを一日15ページずつで3月までに2周する
  - ◎数学は模試のやり直しを2回と一日5題ずつ問題集を解き直す
- \* 右側のように具体的にやることを定めた方が、効率よく対策ができます。

今回の三者面談に向けて準備した内容をベースに、三学期には**全員が志望理由書の作成**を行います。志望校への思いをより強めて、対策に取り組んでもらいたいと思います。

## 学習の自走化について

三者面談では、受験生になる気持ちの高まりが伝わるプレゼンが多くありました。この三学期から高校3年生に向けては、学習の質が大きく変わってきます。それぞれが自分の進路実現のために学習に向き合っていくこととなります。そこで、今後の目標として、以下のことをあげておきます。

### 長期目標：学習の自走化

客観的視点(メタ認知的技能の視点)で、自己分析し最適な対策を講じることができるようになる。

### 中期目標(～高3夏休み)：学習計画を立て、さらに実行時の軌道修正ができるようになる。

学習の自走化の達成のために、学習計画を立てる。さらに状況に応じて軌道修正する力をつける。(春休み前に学習計画の作成を行います)

### 短期目標(高2三学期)：志望校への思いをより強くする

#### 教科バランスを整える(極端な不得意科目をなくす)

苦しいことの方が多し受験勉強を乗り切るためには、思いの強さが絶対に必要です。

国公立大学の受験においては5教科7(8)科目、私立大学の受験においては3教科。バランスを整えた方が好結果は出やすくなります。

## 復習のコツ

前号で「冬休みは復習のチャンス」とお伝えしました。生徒のみなさんは、うまく時間を使うことはできたでしょうか。

復習を効率的に行うためには、まず自分の理解している範囲とできていない範囲を分類することが必要です。そのための最適ツールがこれまでの定期考査・模擬試験です。定期考査・模擬試験で間違えた問題は自分の伸びしろです。時間を取って取り組むことで必ず力になります。三学期は入試関係で登校しない日が多くあります。冬休み中に取り組めた人は新たな課題に、まだまだ足りていない人は以下の手順を参考にできる範囲を増やしておきましょう。

- ①今までの定期考査・模擬試験で間違えた問題を解き直す。
- ②自己採点をする。この時、「答えがあっていたかどうか」よりも「考え方があっていたか」に注意して採点する。
- ③「考え方が分かっていなかった問題」については、考え方を理解することから始め、類題に取り組む。
- ④「考え方が分かっていたが間違えた問題」については、「なぜ間違ったのか」原因を探り「自分のミスの癖」を認識して、もう一度問題を解き直す。

## 修学旅行に向けて(再)

- |    |        |                 |
|----|--------|-----------------|
| 1月 | 8日(水)  | 保健調査表配布         |
|    | 10日(金) | 以降はキャンセル料が発生します |
|    | 15日(水) | アクティビティ超過金額分の集金 |
|    | 24日(金) | 校医検診(希望者のみ)     |
|    | 27日(月) | 大荷物集荷・発送(全員)    |